

愛寿会だより

7 月号
第 181 号
平成 26 年
7 月 10 日発行



感染対策講座

標準予防策 食中毒・ノロウイルス

六月十八日に花王プロフェッショナル・サービス株式会社 相良郁子先生の講座があり、多くの職員が参加して研修しました。

「あわあわ手あらいのうた」を視聴しました。当施設でも各班に正しい手洗いの仕方が掲載してありますので一人一人が正しい手洗いを意識して実践したいと思います。また、施設関係者のご家族もご理解とご協力を頂くことで、より徹底した感染症予防が実現するのではないかと思います。

感染症対策で大切なことは「介護の現場においては、その施設にかかわる全ての者が、感染性微生物の存在を常に認識し「感染予防策」の正しい考え方を身に着けること。」であり、日常生活（業務）の中で実践していくことが大切というお話がありました。以下、「感染予防策」についてその要点を記載します。

「標準予防策について」

- 一、手指衛生
- 二、個人防護具 P P E（手袋、ガウン、マスク、ゴーグル、フェイスシールド）
- 三、患者配置
- 四、患者ケア器材・器具・機器の取り扱い
- 五、環境の維持管理
- 六、リネンの取り扱い
- 七、労働者の安全
- 八、呼吸器衛生・咳エチケット
- 九、安全な注射手技
- 十、特別な腰椎穿刺手技のための感染制御策

標準予防策の中でも重要となるのが手指衛生管理です。講座では手指の洗い方のアニメーション

手指洗浄後に使用するアルコール消毒のポイントとしては、きれいに洗浄した手にアルコール消毒をする・乾いた手に使用する・手指全体をぬらし、十五秒以内に乾かない十分なアルコール擦式消毒剤の量をとる・手指表面をくまなく両手で手が濁くまで擦り込むなどが挙げられます。アルコール消毒は使い方によっては効力を示さなくなるためポイントを守って使用することが大切です。

次に介護現場における日常業務の中で重要となってくるのが個人防護用具 P P E の使用と取扱いです。中でも使用頻度の高い使い捨て手袋やマスク、ガウン・エプロンの使用後の取り外し方については実際に実演して頂きました。すべての職員が認識し徹底したいと思います。

今回の研修では、一人一人が感染症対策の意識を高めていくこと、そして集団の中で連携をとっていくことが重要だと痛感しました。今後、感染症の予防にあたっては関係者様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～ ガーデンランチ ～

六月十一日（水）喫茶いこいを会場に、初めての試みのガーデンランチを、各班より六名、計二十四名の入所者様が参加し開催しました。



昼食の時間
に開催したため、毎月一回夕食の時間に開催している「居酒屋」に参加できない入所者の方にも参加していただき、普段顔を合わせることもない他のフロアの方と触れ合う良い機会となりました。
準備が整うまでの間、職員と共に童謡を、

合唱し口腔体操を行いました。食べやすくカットされ綺麗に盛り付けられた果物とジュースをワゴンに乗せ、入所者様のテーブルへ。それぞれが好きな果物、ジュースを嬉しそうに選び、松花堂風弁当に盛り付けられた昼食をジツと眺められる姿も見受けられました。
初めての行事であるため課題も多く残りましたが、次回も利用者の皆様がより楽しめる様取り組んでいきます。

～ グループホーム やすらぎ ～

六月五日（木）、長野県茅野市にお住いのシンセサイザー奏者 横内丙午・るりご夫妻がボランティアに来てくださいました。
大きな楽器をいくつも準備して来られ、演奏が始まると皆様ビックリ。聞いたこともない音色に酔いしれ楽しまれ、好きな曲をリクエストしたり一緒に唄ったり、時間の過ぎるのも忘れ楽しいひと時を過ごされました。



また、手

作りのカリ
ンバ十台を
寄贈して
いただき、最
後に記念撮
影をし、次
回のボラン
ティアをお
約束いただ
きました。

横内様、
素晴らしい
演奏・歌を
ありがとうございました。
また、手



～ 生活支援ハウス こあらま ～

六月十九日（木）「模擬喫茶」に、生活支援ハウスこあらまの入居者様が揃って参加しました。



今日のメニュー

は今川やき・バ
バロア・たこや
き・カップケー
キ・紅茶と豊富で
す。皆さんそれぞ
れお好きなもの
を選び、「手作り
のおやつはおい
しいね」といいな
がら食べられて
いました。

また、顔見知り
の利用者さんや、
久しぶりに会え
た職員もいて、会
話もはずみ楽し
まれていました。

最後にはおみやげ用にと他の種類のおやつを喜んで買っていました。

今後、「社会見学」
や「夏まつり」他行事への参加など、入居者の皆様が楽しく活動できるよう努めたいと思っています。



仁生園 夏まつり実行委員会

実行委員長 森田 悦子

待ちに待った七月です。今年は二十六日(土)に「夏まつり」を実施することになりました。焼き鳥、たい焼き、焼きそば、フルーツポンチ、わた菓子、フランクフルト、ビール、ジュース等たくさんのお出まします。

アトラクションは、平井千尋様の歌謡ショー、寿美浩会様の舞踊です。そして全員で「これから音頭」に合わせて体操を行います。毎日練習を行い当日に練習の成果を発揮できるよう頑張っています。

花火は、手持ち、打ち上げ、ナイアガラを昨年より盛大に行います。楽しみにして下さいます。準備も実行委員会を中心に着々と進んでおり、職員一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

尚、お車は駐車場係りが案内致します。ご協力よろしくお願ひします。



【 昨年行われた夏まつりの様子 】

第二仁生園 夏まつり実行委員会

実行委員長 上原 貴文

今年も夏祭りの季節がやってきました。当園でもお祭りに向けて利用者様と職員が協力し、屋台のメニューを考え、舞台の飾りづくりをして、楽しい日々を過ごしています。

中でも盆踊りの練習は、朝・昼の食事の前に皆が食堂に集まり「武田節」「炭坑節」を踊っています。恒例の曲でもあり今では本番さながらに息の合った踊りとなっています。

また、今年は「幻想的な世界を」と、日中活動の手芸工作で灯籠づくりに挑戦してみました。皆さんの素敵な作品がご覧いただけます。



【 昨年行われた夏まつりの様子 】

屋台では、地元業者の協力により美味しい焼き鳥を用意し、北杜市高根町の、「よさこいボランテニア」「華風舞姫(はなふぶき)」の皆様による踊りの披露もあります。祭りの規模は小さいですが、夏の夜を涼みながら利用者様・ご家族・ボランティア・職員が交流を深め一体感や充実感を感じていただけたと思います。

七月二十三日午後六時より行います。平日の夜ですが万障繰り合わせの上お越しをお待ちしております。

第二仁生園

合唱ボランティア「うたなかま八ヶ岳」様

毎回素敵なゲストと一緒に来園して下さいます。六月十一日はマンドリン合奏の「マンマカリーナ」との合同演奏会でした。

前半は、それぞれの皆さんの素晴らしい合唱や演奏を聴きました。後半は夏の歌特集で、「夏は来ぬ」「夏の思い出」など馴染みの季節の歌を歌っていただき、最後に利用者のリクエストで一緒に「茶摘み」を歌いました。

優しい音色のマンドリンと合唱がとてもよく合い、多目的ホールの中は楽しい音楽会の様でした。



冷たいデザートを作りました

六月二十五日、アイスパフェを作りました。カップも持ちやすいものを用意し、中に入れる材料は、フルーツグラノーラ、ヨーグルト、アイスクリームです。

皆さん、お好みのものを楽しみながらスプーンで入れ、最後に南アルプス市白根特産のサクランボをポン！とせて出来上がりです。フルーツグラノーラって何かなくと不思議に思っていた方も、「美味しいもんだね。」と頂いていました。



梅雨空のうっとりとした季節、園の中はさわやかな雰囲気でした。

